

「ジャパン・ラッシュ」の時代が始まる

原田武夫国際戦略情報研究所代表取締役
原田武夫

- *セファラデイを呼び込む南欧
- *英仏から始まるデフォルト・ドミノ
- *ボルカー・ルール適用の隠れた理由
- *注視すべき太陽活動の異変
- *寒冷化が不可逆的にどんどん進む
- *サウジアラビアは木っ端微塵になる
- *二つの「普遍」の衝突が生じる
- *気候変動は大量破壊兵器に匹敵する
- *中間層の資産で債務を棒引きに
- *新しいもの、異なるものに心を開く



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

今日は原田武夫さんにおいていただきました。2回目でございます。今回も、最近、日本にラッシュが始まるという本を出されて、もうすでに重版になっておりますが、そういう意味では今の時期、皆さんの興味を引いていただけてのではないかと思います。

どうも日本人は、20年も難しい時代が続いたせいかすぐ弱気になりました。年明け後も消費意欲が低下しているとか、いろいろな話が国内ではされるわけですが、海外からの訪問客は史上最高になりましたし、経済力を含めて注目度は結構高いわけです。今日は、皆さんにも一度前向きに明るい気持ちになって帰っていただくための講演会です。それでは原田先生、よろ

しくお願いいたします。（拍手）

原田 ご紹介にあずかりました原田でございます。前回は一昨年、わが国におけるパブル展開についてお話し申し上げました。外務省というのは経済に疎いので有名ですので、あのときも、こいつ何言っているのかなと、そう思われた方もたくさんいらっしゃったのではないかなと思います。ただ、その直後から、ご案内のとおりわが国においては大きな展開になってきたわけでございます。

ではこれからどうなるのか、最初に結論を申し上げます。現在の展開が終わるのは、5年後です。これから5年かかります。と私が申し上げて、そのとおりだと思われた方と、何を言っているのだと思われた方といらっしゃるかと思